

設置期間	2024年4月～2027年3月			
研究課題名	『広弘明集』に見る中国中世在家仏教			
(英 文)	Lay Buddhism in medieval China, as seen from the Expanded collection of the propagation of light (Guang hongming ji)			
研究目的の概要 (400字程度)	<p>『広弘明集』(664年成書)は、4世紀～7世紀前半(六朝・隋・初唐)の仏教諸文献を集める。本研究班は、『広弘明集』に収める在家信者(具体的には王侯貴族)が執筆した書物を取り上げ、在家者に共通する仏教に対する見方と接し方を、出家僧と対比しながら検討することを研究目的とする。</p> <p>中国において仏教は様々な発展を遂げた。多くの仏書は「出家者」が書いたものだが、それだけにとどまらず、皇帝・皇族・知識人らの「在家者」も大きな役割を果たした。例えば、仏教と世俗社会の関係や、仏教書の文字表記と中国伝統文献(儒教・老荘・文学等)との連関は、出家者が書いた書物からは知り得ない、在家仏教の一面である。一方、在家者であるために参看できなかった仏教書もあったと考えられる。具体的には例えば、出家者の生活規則や罰則を記す『律』(ヴィナヤ)や出家者が書いた詳細な注釈書を在家者は手にとって読めたのか。また、在家信者が特に好んだ書物があったのか。現在に至るまで、これらの問いに対する確かな答えは今なお得られていない。本研究班は中国在家仏教史に対する新たな解釈の試みである。</p>			
研究会開催予定等	年14回 金(隔週) 14:00-17:00			
No.	班長・副班長	氏 名	区分	所属
1	班長	船山 徹	所内	
2		稲本 泰生	所内	
3		ウィッテルン, クリスティアン	所内	
4		古勝 隆一	所内	
5		倉本 尚徳	所内	
6		中西 竜也	所内	
7		石垣 章子	所内	
8		ニューホール, トマス	所内	
9		山本 茂	所内	
10		蘭 原	所内	
11		慶 昭蓉	所内	
12		中村 慎之介	学内(法人内)	文学研究科
13		河上 麻由子	国立大学	大阪大学大学院人文学研究科
14		李 乃琦	国立大学	名古屋大学文学研究科
15		魏 藝	私立大学	龍谷大学大学院文学研究科
16		中西 俊英	私立大学	京都女子大学文学部
17		村田 みお	私立大学	近畿大学国際学部
18		久永 昂央	民間機関	東大寺ミュージアム
19		趙ウニル	外国機関	梨花女子大学校